



成田用水粉碎 - 二期工事阻止 北原選挙戦勝利 - 中曽根打倒

日刊 動労千葉

87. 2. 24

No. 2485

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五・六（公衆）〇四七二（22）七二〇七

2・29三里塚現地へ大結集を訴える

二月二二日、三里塚・菱田において「二期工事阻止、成田用水河川改修粉碎2・22三里塚現地総決起集会」が開催された。動労千葉は反対同盟の呼びかけに応え、動労水戸、国労共闘の仲間とともに闘いぬいた。農地死守・実力闘争をかかげた反対同盟二十一年の闘いは、国鉄決戦とともに最大の正念場をむかえている。

2・28 国鉄労働者集会から3・29 三里塚現地集会へ全力決起する、二一三月決戦の大爆発をかちとり、四月一日新たな闘いへ突き進もう。

闘えば必ず勝利する

三里塚現地では、反対同盟を先頭に中曾根・公団の二期工事強行の攻撃と連日対決し、闘いぬかれている。C滑走路建設の突破口としてある成田用水水路拡幅工事を一月粉碎した用水決戦は、必死になつて闘うことによつて二期工事をぶつとめることができる、勝つことができることを示した。反対同盟は勝利の確信をますます深めている。

十三時すぎ、青年行動隊・木内氏の司会ではじまり、北原事務局長が基調報告に立ち「用水工事の終了宣言を三月中旬に県当局・空港公団はださなくてはならない。しかも、成田用水工事―C滑走路建設の中曾根・公団のプランは大きく崩れ『九〇年完成』計画は二期着工を強行しながら行きずまつてしまった。正義と大義があるから三里塚は絶対に勝利する。本集会から新たな二期阻止の闘いに決起しよう。とりわけ三・二九全国集会への総決起をかちとろう」と訴えられた。

動労水戸の仲間とともに

つづいて、菱田の鈴木幸司氏、二期用地内の市東東市氏、島村初枝氏、婦人行動隊の郡司とめ氏、青行の伊藤信晴氏がそれぞれ決意を明らかにした。

そして、動労千葉の新藤青年部長、動



労水戸の仲間より、「二月十二日の設立委・国鉄当局の不法不当なレッドパージの暴挙を弾劾し、動労革マルを先頭とした『鉄道労連』の新たな動労千葉、国労解体攻撃を許さず闘いぬく」との断固たる決意表明がなされた。ひきつづいて、各住民、支援団体が「三・二九総決起」を訴えた後、機動隊の弾圧をはねのけデモを貫徹した。



中江昌夫を ゆきまろつどい

時 二月二六日（土）
午後六時
所 船橋商工会議所六階